

大杉谷地区町政懇談会

大杉谷地域総合センター 12月17日 14:00~15:30

質問	発言内容	担当課	回答 (発言者、発言内容)	備考
1	社協が大杉谷地域総合センターで実施しているつどいの場での食事については、せせらぎ会が作っているが、来年度も今年度同様に継続してほしい。	健康ほけん課	(健康ほけん課長) R3年度は活動できるように補助をしている。R4年度もR3年度と同様に予算要求をしている状況である。	
2	東又谷川の工事について R422号線(桧原 野又地内)の道路改良工事(待避所)設置要望について	建設課	<p>(町長) 前三重県知事の鈴木英敬氏に要望をしている状況であり、林野庁には既に報告している状況である</p> <p>(建設課長) 東又谷川の崩壊対策工事については、12月23日の大杉谷地区区長会において、工事の今後の計画を三重県から説明予定。 R422号線の待避所設置要望について、県に要望済である。今後、工事などの事業が再開されてくるため、町としても県へ要望していく。</p>	<p>東又谷川の現状と今後の計画については、和3年12月23日の大杉地区区長会での、三重県からの説明の通りです。</p> <p>国道442号 桧原地内(三軒屋)の待避所整備については、引き続き三重県に要望します。</p>

大杉谷地区町政懇談会

大杉谷地域総合センター 12月17日 14:00~15:30

質問	発言内容	担当課	回 答 (発言者、発言内容)	備考
3	<p>滝谷地内の道路改良工事の施工方法について 池ノ上の道路改良工事の施工方法の見直し及び 池ノ上の施工済の部分の共用開始について</p>	<p>建設課</p>	<p>(建設課長) 大熊の拡幅工事に伴う、工事用道路については一度県に確認し、後日回答します。 池ノ上の拡幅工事の工法については、国の補助をうけて実施しているため、工法はもっとも安価な工法であると認識している。施工済の共用開始については県に確認し後日回答します。</p>	<p>令和3年12月23日の大杉谷地区区長会での、三重県からの回答の通りです。 大熊拡幅工事の工事用道路について、毎年設置して撤去を行っているのは、宮川の河川出水期において工事用道路が流出される恐れがあるため、毎年設置撤去を行っています。 県道大台ヶ原線（池ノ上）道路改良については、施工済の箇所は令和3年度で供用を開始します。</p>

大杉谷地区町政懇談会

大杉谷地域総合センター 12月17日 14:00~15:30

質問	発言内容	担当課	回 答 (発言者、発言内容)	備考
4	大杉谷地域は見てのとおり、杉、ヒノキに囲まれた地域である。今後はどうしていくのか？	森林課	(森林課長) 将来、所有者が手を付けられない山林については、R元年度から町に交付されている森林環境譲与税がR6年度から1億円余り交付されますので、それを活用し整備を進める予定である。ただ、山林が多いため、何年後とは約束できないがご理解願いたい。	
5	町の財政再生計画について 新たな歳入の確保 町の施設（出張所・学校）の統合などについて	総務課	(総務課長) 財政は地方交付税に依存している状況である。町としても新たな財源の確保が必要と認識している。ふるさと納税も活用し、財源を確保している。ただ、地域性により国に依存している部分もある。大杉には出張所は行政サービスの低下を防ぐため、出張所は継続していく。	
		教育委員会	(教育長) 町の年間出生数は約50人程度だったのが、コロナの影響なのか約30人程度まで低下してきた。そのため、川添地区では学校だけではなく保育園も含め相談している状況であるが、理解が得られていないところ。宮川小学校については、当面そのまま維持したいと思うが、宮川中学校は大台中学校との統合も必要であると考えている。	

大杉谷地区町政懇談会

大杉谷地域総合センター 12月17日 14:00~15:30

質問	発言内容	担当課	回 答 (発言者、発言内容)	備考
6	<p>少子高齢化のため、子どもを増やし育てていくことが大事である。</p> <p>確かに財政の状況を考慮し、貯めることも必要であるが、使うところには使うようにして頂きたい。</p>	総務課	<p>(町長) 職員の意識改革を実施し、無駄な予算を削除しているが、町民サービスの低下にならないよう使う所には使う予定。</p> <p>(総務課長) 空き家対策や移住を進めている。また、生活様式の変更により、仕事をリモートでできるようになってきているため、今後田舎暮らしが全国的に増えてくると考えているため、なんらかの策を講じていく必要がある。</p>	
7	<p>領内・大杉谷地域の道路改良工事について、池ノ上のは、現状は池のようになっている。河川の堆積土をいたるところに運搬しているが、それを池ノ上に運んだり、施工の際の材料に使うことはできないか。</p> <p>鮎の放流はできないか。</p>	建設課	<p>(建設課長) 池ノ上の工事については県工事については県に報告します。</p> <p>滝谷地内の幅員が狭いところについても県に報告する。</p> <p>大台町の国道、県道の実情としては5箇所施工してもらっており、その内2箇所大杉谷地内で実施している。</p> <p>町長の方から改めて県へ要望する</p> <p>(町長) 鮎の放流については、漁業組合、観光協会、ダム関係者と相談が必要だと思う。</p>	
8	風力発電について	生活環境課	<p>(総務課長) 風力発電計画については、大台町も実施計画の範囲に含まれていたが、住民の反対署名活動により、町や議会に請願が提出され、議会においては可決され、住民の意見を松阪市、三重県に提出した。ただし、実施計画範囲から大台町が外れたことにより町には何の許可権限もないことだけご理解願いたい</p>	

大杉谷地区町政懇談会

大杉谷地域総合センター 12月17日 14:00~15:30

質問	発言内容	担当課	回 答 (発言者、発言内容)	備考
9	ライフラインについて、宮川上流の発電所から融通できないのか？	総務課	(総務課長) 中部電力から聞いたが、大和谷発電所から領内地域ぐらいまでなら供給できると聞いたが、電力が不安定となる恐れがあると聞いている。電力に関する事なので、中部電力に確認する。	中部電力に確認を行った結果、大和谷発電所から電力を送電するには、変電所等の設備整備が必要であり、現状の設備ではできないとのことでした。このため、現状の送電の仕組みを図面でいただいたうえで、質問者へ説明を行いました。
10	せせらぎ会の厨房の電気を地域総合センターの電力と一本化にできないか	総務課	(総務課長) 電気法などの制約もあるかと思うので、一度確認する。	電力の一本化は物理的には可能ではあるが、電気工事費が百数十万かかることが見込まれています。現状施設の残りの存続期間を考慮した結果、そこまでの投資は難しいとして、現状の体制での利用をお願いしました。